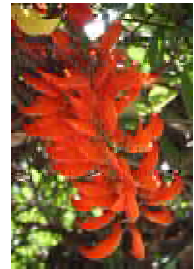


Easter Village

イースタービレッジだより 第53号



兄弟のように共に住むのは楽しいこと

イースタービレッジ近況

エルニーニョの影響で1月から雨がほとんど降らず、4月上旬に、キダパワンでは、困り果てた農民が米の配給を求めて大結集し、6千人もの農民たちが道路を封鎖し、選挙前の政治も絡み、死者を出す悲しい結果になりました。道路封鎖された場所がイースタービレッジからすぐ近くの国道だったため、散らされた農民たちがビレッジを横切って侵入したり、混乱に少し巻き込まれた感じですが、農民たちの苦しみは本当に同情に値します。5月の中旬頃から今度はラニーニャで、毎日スコールが降るようになり、異常気象を実感します。

6月に入り、いよいよフィリピンの新学期です。現在、ホームの方には12名の子どもたち、IL(インディペンデント・リビング・プログラム)には11名の23名がビレッジのメンバーです。それぞれ、幼稚園、小学校、高校、大学と大所帯となっています。イースタービレッジの幼稚園も順調な滑り出しで、キティちゃんやんの園バスが活躍しています。夕方には子どもたちがカラバオ芝で元気に遊び回り、その声を聞いているとイースタービレッジの歌にあるように、「元気のもとなのさ」と実感します。

今年は夏ごろまでにイースタービレッジのオリジナル音楽CDの発売に向けて、夏休み中も毎日練習していました。子どもたち自身が内側に持っているメロディーと詩が一つとなり、ぜひ皆様にお届けしたいと考えています。また、札幌教区100周年の行事(9月4日)にビレッジのメンバーが招待され、ミニコンサートを開く予定にしています。現在も曲を選んだり、練習に励んでいます。ダバオ在住の本田修二さんはプロのシンガーソングライターでギタリストなので、曲のアドバースやコンサートに向けての指導などをお願いしています。本番もギターを弾いてくれることになって心強い限りです。エクスプロージャーで知り合った仲間たちとも出会えるのを楽しみにしています。

祐川郁生

E Vの新学期

4月、5月と長い夏休みも終わり、新しくビレッジで生活することになった子どもたちや、親元に帰ることができた子どもたちもいて、ビレッジの雰囲気も毎年この時期に新たにされます。まずは、新しくメンバーになった子どもたちの紹介です。

前にこのたよりでお知らせしたジョシュアの二人のお兄さんが新たにメンバーに加わりました。一番上のお兄さんのラミル(18)と次のお兄さんのロムロ(15)です。



血のつながった兄弟が共にここで暮らします

二人はイープログラムの子としてそれぞれ学年が遅れてしまっていていますが、9年生と4年生としてまた学校に通います。弟のジョシュアは突然できたお兄さんにすっかり甘えています。

次に、これも兄弟でビレッジの仲間に入ったジェマール(16)とロニー(10)です。二人ともやはり学校に行けなかったので、仲良く4年生で学校に通います。



可愛らしい女の子の姉妹も仲間入りです。お姉さんのジェンジェン(12)と妹のジナ(8)です。昨年は学校に行けなかったため、それぞれ3年生と1年生としてまた、キダパワンの小学校に通うことになりました。

した。二人の誕生日は不明で、これから色々とソーシャルワーカーの仕事が忙しくなります。



左の写真の子の顔に見覚えのある人は、相当にイースタービレッジのことを御存知の方です。



14年前、2002年にイースタービレッジがスタートした年の最初の子どもたちです。一番下のインダイ・ユミが戻ってきました。ビレッジを出てから、母親の元に帰っていたのですが、また、他の施設に入り、別の施設を出て去年、大学に入ったのですが、経済的に続けられないことを知った当時ソーシャルワーカーだったチエチェ(現在の副施設長)がイープログラムの一員として声をかけたところ、喜んで「里帰り」を果たしました。「イースタービレッジ、ここは君のふるさと、イースタービレッジ、ここは僕のふるさと」とイースタービレッジの歌の実現のようです。





こんなダンスも踊りました。グラックラク(花)



ユミの名前は祐川神父が命名しました

現在は18歳になりました。昔の面影も残っています。一番喜んだのは父親役の祐川神父のようです。



喜びのうちに家族のもとへ

今度は、それぞれの家族の元へ帰ることができた子どもたちです。ピビ(6)と兄のドドン(8)は母親の元でまた暮らせることになり、ピレッジを去りました。
二人のいとこに当たるジュニア(0)も祖母と一緒に暮らせることになりました。
ジョナリン(16)も親元に戻って学校を続けることになりました。
フィリピンでは施設に長くいるのは良くないとされます。できるだけ、家族の元に帰れるように努



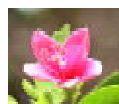
両親と弟と一緒に嬉しそうなジョナリン



力するように指導されます。その道が絶たれている子どもたちには養子縁組など、家族を見つめる努力が施設に求められているのです。

ご寄付頂いた方々、

心より御礼申し上げます。

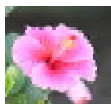


菊地真澄 後藤允・朋子 石川雄治
気仙沼カトリック幼稚園 山崎晴美 川本悦子
株式会社リモウ 大見智子 本田修二・メルス
カトリック円山教会・EVを支える会
大見智子 カトリック北26条教会
水口透 鳴海聖母天使園 川成多紀子
宗教法人・お告げのマリア修道会 宮崎喜代子
アルコイリス虹の会 山崎晴美
カトリック大麻・江別教会 岩川謙一郎
栗原弥恵 松村輝子 川島惇
ト・エイ貿易(株) 株式会社リモウ
カトリック月寒教会 阿部秀子 KOMALSKA EMA
南樺子 安部裕美 榎本みつ枝 菅原睦子
トラピスチヌ修道院 堀田敏弘 森田健児
田上紀子 湯浅節子 岩崎矩子 勝谷太治
マルタの会・有志・売店 鮫島裕子
森山・カトリック湯川教会・売店
清水恵子 金子若男 鳴海聖母天使園
宮代会北海道支部長・吉本仁美 大塚美和子
祐川眞一 永田淑子 浅井繁 佐藤美祢子
村木ウタ子 堀みさを 永井幸雄 難波則子
宮田敏夫・ゆかり 石川雄治 西敏明
カトリック真駒内教会・信徒会 浦谷孝義
カトリック円山教会 窄口三千江 入江幸子
佐山淑子 根本昌子 渡辺幸治 杉野直子
小樽晴美 カトリック手稲教会福祉部 飯塚雄介
大森アヤ子 萬屋三男 加藤光 山名田静
恒川葉子 近藤修二 用田恵子 扇谷ウタ子
山崎清司 澤田あさみ カトリック小野幌教会
湊百合子

その他匿名の方々

(敬称略・順不同)

2016年2月2日～6月2日



イベントの昨日今日

イースターのお祝い



今年のイースター（復活祭）は3月27日でした。イースタービレッジでのイースターのお祝いは盛大に行ないます。もちろん、ミサに出席してビレッジに戻るとお楽しみが待っています。

イースターエッグに絵を書いたり、ゲームをして遊んだり、最後はバーベキューやケーキ、スパゲツティーとご馳走が続きます。イースターはビレッジの最大のお祝いで、多くの支援者の方々に特に感謝の祈りを捧げる日です。子どもたちには素敵な一日になりました。



なかなか面白いもりつけですね

チェリルの訪問



イースタービレッジに長くケアギバーとして働き、その後、香港などに出稼ぎに行っていたチェリルさんが、久しぶりにビレッジを訪問してくれました。

イースタービレッジの運営は、2002年から今年でまる14年、15年目に入りますが、多くの職員たちに支えられてきたことを改めて感じます。フィリピンはOFWと言って積極的に海外就労を勧めています。帰国後にまたビレッジ訪ねて子どもたちにお土産を持ってきてくれる優しい職員たちに頭が下がる思いです。



ペノンズというご飯お代わり仕放題の店にご招待

勝谷司教の訪問

復活祭後に、長年イースタービレッジを支える会の会長をしてくださっている勝谷司教様が久しぶりに訪れてくれました。

司教叙階が決まった時、ビレッジからプレゼントしたミトラ（司教帽）をかぶって、一緒にミサをしてくれました。ビレッジの風景がデザインとなっているミトラです。ここで初めてこのミトラをかぶったそうです。



聖心聖堂での感謝のミサ後、記念撮影



みんなにミトラを見せてお礼を言う勝谷司教



ご馳走を食うとこんな顔になります

ちょうどキダパワンが農民一揆で混乱している時でしたが、ピレッジの中ではいたって落ち着いていました。

ミサ後には、みんなでカラバオ芝の庭でバーベキュー大会。また、一緒にエライというリゾート地でプールで遊んだり、テニスをしたり、子どもたちと楽しい一日を過ごしました。また、司教不在のキダパワンのカテドラルで、英語でミサもしてくださいました。勝谷司教の叙階式に参加したジェシー神父も共同司式してくれました。



キダパワンのカテドラル(司教座聖堂)でのミサ



エライというリゾート地のプールの前で

幼稚園の卒園式

3月19日にイースタービレッジ幼稚園の卒園・進級式が行われました。この幼稚園の正式名は、Easter Village Childcare Educational Center Incorporatedと長いので前の呼び方でE.V.C.Cと呼んでいます。ビレッジからはビビとドドンが卒園を迎えました。22名が卒園、51名がそれぞれ進級します。新学期も始まりましたが、幼稚園は徐々に人数が増えていきます。



勝谷司教は、短い期間でしたが、子どもたちと一緒に食事をしたり、遊んだりしてくれました



人数が入り切らないので、市の施設を借りての卒園、進級式でした。左の写真はドドンとビビの兄妹



夏休みのひととき

エルニーニョで雨がなかなか降らない夏休みでしたが、時には職員と一緒にキダパワン市の中心にあるプラザにミニ遠足しました。ここでは自転車などの貸し出しもしているので、子どもたちは大喜びで自転車を乗り回します。ただ、お気づきのように、フィリピンではサイドカーをつけて「トライシクル」もあります。「いつも誰かと一緒」の文化ですね。



ランとジョシュア、あっちに行けと命令ですか。



3歳の時からいるジェニス、すっかりお姉さんですね。

誕生日おめでとう

誕生日を迎えたビレッジのメンバーの紹介をします。2月3日にビビ（本名はアイリッシュ）が6歳の誕生日を迎えました。3月30日にはジョナリンが15歳の誕生日。4月10日にサミーが21歳、5月29日が誕生日のベルナデッタは18歳を迎えました。また、4月8日が誕生日の祐川神父は、たまたまこの時期にビレッジにいたため、久しぶりにみんなにお祝いしてもらいました。



フィリピンでは、誕生日を迎える人が食事の準備をして、招待する慣わしです。2012年から札幌からビレッジに通う生活になった祐川神父は、今年は誕生日にビレッジに滞



右の写真は右からビビとジョナリン。左の写真がベルナデッタ。名古屋から来て10年が経ちました。



久しぶりのビレッジでの誕生日のお祝いでした

在中でしたので、子どもたちはどんな食事が出るのか期待していました。大きなケーキを準備してくれました。また、サプライズで一人ひとり、心のこもったメッセージを語ってくれました。14年前の写真を見ると、やはり年月は隠せないものだと感じます。みんなのメッセージを聞きながら、今までの喜びと苦労を思い出しましたが、多くの人たちの善意によって支えられてきたことをさらに深く感じる事ができた誕生日になりました。



懐かしい思い出の写真です



ビレッジスタート時のインダイとクリスティンと



フィリピンの乗り物

<支援のお願い>

フィリピン南部にあるイースタービレッジ・ミンダナオは善意ある日本の皆様に支えられています。貧困と紛争の犠牲者となっている声なき子どもたちを私たちが支え、そして彼ら自身が自立し、貧困と紛争の原因を取り除く平和の使者となるようにできるだけの援助をしたいと考えています。与える以上に受けるものの方が本当はもっと多いのです。援助をくださる方は下記事務局にご連絡くださいませ。

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」(支援者募集)

代 表 勝谷 太治 事務局 西田 淳子 松川 厚明

060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 カトリック札幌司教館内

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」事務局

011-241-2785 Fax 011-221-3668

支援金 : 年会費一口 ¥5,000 (一口以上) 一般寄付

郵便振替口座番号: 0 2 7 6 0 - 3 - 3 9 4 7 3

口座名称: イースタービレッジ・ミンダナオを支える会

現地事務所: EASTER VILLAGE OFFICE

Riverpark Subd., Kidapawan City 9400 Cotabato Philippines

Tel: 63-64-577-4742 Fax: 577-3118 Email: info@eastervillage.com

Website: <http://eastervillage.com>

* 会員、並びに奨学生を支えて下さっているスポンサーの方々、一般のご寄付を下さった方々には継続してこのたよりを送らせていただきます。(年四回)



2016年6月

「イースタービレッジだより第53号」

発行責任者: 祐川郁生

